

2014年3月14日 プレスリリース

白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力



《駅家の木馬》2011年

【展覧会概要】

会 期：2014年3月15日（土）から2014年6月15日（日）

開館時間：11時から19時まで（入館は閉館の30分前まで）

休 館 日：水曜日

観 覧 料：一般600円(400円) 大学生400円 65歳以上400円 高校生以下無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方および付添1名無料

※()内は10名以上の団体料金

※4月13日（日）は、「木馬祭り」のため無料

※トワイライト割引（17時以降の入館）400円

※毎月22日は、ペア割引800円/2名

主 催：アーツ前橋

助 成：平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

後 援：朝日新聞前橋総局／産経新聞前橋支局／上毛新聞社／東京新聞前橋支局／日本経済新聞社前橋支局／毎日新聞前橋支局／読売新聞前橋支局／共同通信社前橋支局／時事通信社前橋支局／NHK前橋放送局／群馬テレビ／エフエム群馬／まえばしCITYエフエム

協 力：株式会社ナカダイ／川場スキー場／スノーパーク尾瀬戸倉／パルコール孺恋スキーリゾート

「ダダ」のかけ声が、地域社会や芸術における近代化の歴史を呼び覚ます。

このたびアーツ前橋は、1970年代にフランス/ドイツに滞在し、当時の欧米における芸術運動に触れ、帰国後は群馬にアトリエを構え、現在まで赤城山の麓で制作活動を続けている白川昌生の個展を開催します。

白川昌生は、欧米や都市部を中心とした芸術における支配的な価値観に対して批評的な距離をとり、自らが生活する地域の歴史や文化に着目して表現活動をおこなってきました。それゆえに、作家が生きる社会、経済、思想などと深く関わることを重視し、作品制作のみならず、展覧会の企画や執筆活動も含めた広範な表現活動によって高い評価を得ています。それは1990年代以降、各地域の歴史や文化に注目する多文化主義の潮流において生まれている新しい芸術表現の動向において、先駆的な役割を果たしているとも言えます。

この展覧会では、こうした活動を概観するために白川がヨーロッパ滞在中に制作したコンセプトノートから、今回の展覧会のために制作された新作までをご紹介します。また、白川と関わりの深い次世代の作家との共同制作によって、その同時代性にも着目していただければと考えています。

【作家略歴】

白川 昌生（しらかわ・よしお）

1948年福岡県北九州市戸畑生まれ。1970年に渡欧、ストラスブール大学文学部哲学科にて哲学を専攻。1974年パリ国立美術学校入学、1981年国立デュッセルドルフ美術大学を卒業、マイスターの称号を受ける。1983年に帰国し、1993年に地域とアートをつなぐ美術活動団体「場所・群馬」を創設。2002年北九州ビエンナーレでの「アートと経済の恋愛学」（北九州市立美術館）、2007年「フィールドキャラバン計画」（群馬県立近代美術館）など、国内外で活躍する。美術家としての活動の他に評論執筆活動も盛んに行う。主な著書に（以下、いずれも水声社）『日本のダダ1920-1970』（1988・2005）、『美術、市場、地域通貨をめぐる』（2001）、『美術・記憶・生』（2007）、『美術館・動物園・精神科施設』（2010）など。

【関連イベント】

白川昌生 アーティストトーク ※終了しました。

日時：3月16日（日）午後2時より午後4時まで 会場：1Fスタジオ

[参加無料、ただし本展の観覧券の半券が必要です]

記念対談

白川昌生 x 毛利嘉孝（東京藝術大学准教授、前橋映像祭副実行委員長） x 住友文彦（アーツ前橋館長）

日時：5月4日（日）午後2時より午後4時まで 会場：1Fスタジオ

[参加無料、ただし本展の観覧券の半券が必要です]

記念トーク 白川昌生 x 冨井大裕 x 中崎透 x 藤井光（いずれも本展覧会参加作家）

日時：5月18日（日）午後2時より午後4時まで 会場：1Fスタジオ

[参加無料、ただし本展の観覧券の半券が必要です]

学芸員によるギャラリートour

日時：3月21日（金・祝）、4月29日（火・祝）、5月24日（土）

各日午後2時より約30分

[申込不要／要観覧券／開始時間に受付へお越しください]

学芸員によるファミリーギャラリートour 「白川昌生を親子で楽しむ」

日時：3月30日（日）、4月27日（日）、6月8日（日）

各日午後2時より約30分 小中学生とその保護者対象

[申込不要／保護者のみ要観覧券／開始時間に受付へお越しください]

ゴールデンウィーク特別ワークショップ 「白川昌生の〈誰でもアーティスト〉」

日時：5月5日（月・祝）午後2時より午後4時まで 会場：1Fスタジオ

内容：白川昌生のアートの作り方を実際に手を動かしながら学びます。

対象：高校生以上の学生 定員：20名

[参加無料／要予約]

申込方法：お名前、住所、電話番号、メールアドレス、年齢を明記のうえ、
artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp までご応募ください。5月1日（木）必着。

「駅家（うまや）の木馬」祭り

国定忠治や萩原朔太郎のような歴史的人物をモチーフに白川氏のイマジネーションで前橋に新たな物語が紡ぎだされます。このお話をもとに生まれた「駅家の木馬」祭りをツナガリズム祭りに連動して行います。街の中を木馬が練り歩きます。

日時：4月13日（日） 一回目：午前10時20分 二回目：午後2時30分

集合場所：大蓮寺（前橋市千代田町三丁目3-24）

対象：どなたでも

[事前申込不要／参加無料／開始時間に集合場所へお集まりください]

【展覧会カタログ】

『白川昌生 ダダ、ダダ、ダ』

執筆者：白川昌生（美術家）、毛利嘉孝（東京藝術大学准教授、前橋映像祭副実行委員長）、森野榮一（経済評論家）、Astrid Handa-Gagnard（アストリッド・ハンダ=ガニヤール／現代美術地方財団ブルゴーニュ地方ディレクター）、小野田藍、住友文彦（アーツ前橋館長）、今井朋（アーツ前橋学芸員）

発行：株式会社水声社

企画・監修：アーツ前橋

サイズ：A4版

頁数：200頁

言語：日英バイリンガル

価格：1,800円（税別）アーツ前橋のショップで購入の場合

発売日：2014年3月15日（土）

【主な出品作品】

* 展覧会広報用にデータを貸出いたします。ご要望の方は、お問い合わせください。

- ① 《基準—日本》1990年（1994年改変、再制作） 北九州市立美術館蔵
- ② 《Tomoko & Light》2014年
- ③ 《無人駅での行為（群馬の食）》2000年
- ④ 《スノーボードサークルNO.2》2007年
- ⑤ コンセプトノートより1976年

①



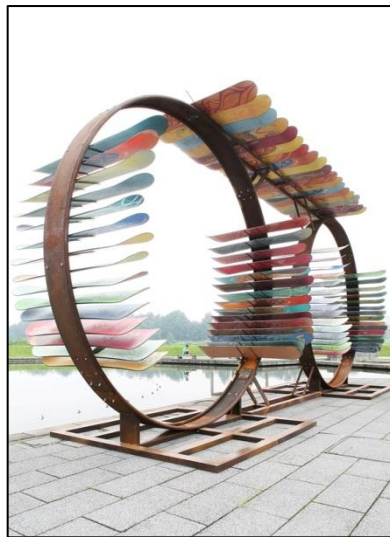
②



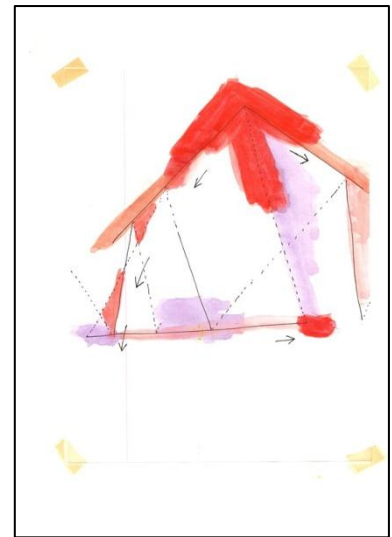
③



④



⑤



【お問い合わせ】

アーツ前橋 担当：深代、今井

TEL：027-230-1144 Fax：027-232-2016

E-MAIL：artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

WEB：http://artsmaebashi.jp/

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16